

患者さんパンフレット

四国がんセンター
血液腫瘍内科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、
最良の状態での治療が受けられるようお手伝いいたします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、
安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします



R-CHOP療法を 受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

2006年7月22日 作成
2023年10月17日 改定

R-CHOP療法のスケジュール

点滴投与のスケジュール



リツキシマブ



約2～6時間かけて点滴します

ドキシソルピシン



約30分の点滴です

オンコピン



約5分の点滴です

エンドキサン



約10分の点滴です

プレドニン

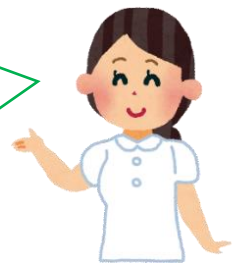


この他に、アレルギー予防や発熱予防のための注射薬や内服薬があります

安全に点滴を行うために

- 正しく安全に点滴液を投与するために輸液ポンプを使用します
- 点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
- 歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は支えにしないようにしましょう

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき
- * 点滴を開始してから、気分が悪くなったり、呼吸がしづらくなるような症状が出たとき



こんなときは看護師にお知らせください

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として患者さんご自身の目標をかかげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう医療スタッフの目標もあげています

入院は約3週間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>	<予定>	
10:00 ～ 10:30	入院 検温	<p>【入院後に以下のことを予定しています】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・歯科受診
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none"> ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります ・治療オリエンテーション ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください 印鑑は必要ありません ・入院診療計画書をお渡しします
14:00	検温	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に制限はありません ・入浴は時間内であればいつでも可能です ・かかりつけの病院について、看護師が確認を行います かかりつけの病院がない場合には、希望するかかりつけの病院について、確認を行います
18:00	夕食	<p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
19:00	検温	<p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に制限はありません ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
21:30	消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・眠れないときはお知らせください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・入院生活や治療に対する不安がないよう支援します



入院中の生活の注意点

- ◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
 - ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
 - ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
 - ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をしないでトイレに行きましょう
 - ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます。尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

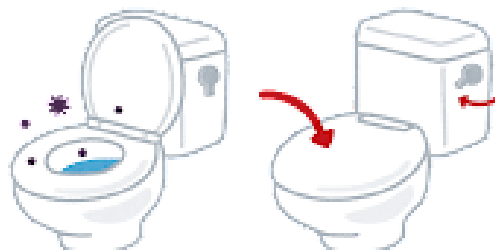


- **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- 尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう。2度拭き取ると良いでしょう。

- トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- 尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

抗がん剤投与1日目 月 日



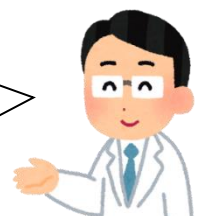
今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・転倒しない

<時間>	<予定>
6:00	起床、検温 洗面、歯磨き
7:30	朝食
10:00	検温、体重測定 (体重は、点滴開始までに測定し検温表に記入してください) 点滴を始めます 予防的にロキソプロフェン錠(解熱鎮痛薬)を服用します リツキシマブ投与開始前から点滴終了30分後まで心電図モニターをつけます
	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">①アレルギー予防 【30分】②リツキシマブ 【1時間】③リツキシマブ 【1時間】④リツキシマブ 【1時間】⑤リツキシマブ 【約3時間】</div>
	③～⑤は投与中に点滴スピードを上げていきます 抗がん剤の点滴開始前、開始後30分、抗がん剤の点滴スピードを上げる前、上げた後、点滴終了時、終了30分後に体温、血圧、酸素飽和度を測定します
	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう 点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります 点滴台は支えにしないようにしましょう</div>
12:00	昼食

医療スタッフの目標

- ・アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



<時間> <予定>

14:00 検温

- 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください
- 点滴中は、なるべく安静に過ごしてください
- 何か変わったことがあればナースコールでお知らせください

16:00 体重測定



点滴が終了すればシャワー浴ができます
体調に応じて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いしますので、
声をかけてください

18:00 夕食

19:00 検温



フタをして水を
2回流しましょう

21:30 消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

抗がん剤投与2日目 月 日



今日の日目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・転倒しない

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温
洗面、歯磨き

7:30

朝食

点滴開始60分前に**アプレピタントカプセル**（吐き気止め）を服用します
内服の時間は看護師がお伝えします

10:00

検温、体重測定
（体重は点滴開始までに測定し、検温表に記入してください）

点滴を始めます

点滴開始時に**プレドニン錠**を服用します

- | | |
|-----------|--------|
| ①吐き気止め | 【30分】 |
| ②ドキシソルビシン | 【30分】 |
| ③オンコピン | 【約5分】 |
| ④エンドキサン | 【約10分】 |
| ⑤生理食塩水 | 【約5分】 |

エンドキサン開始前、開始5分後体温、血圧、酸素飽和度を測定します

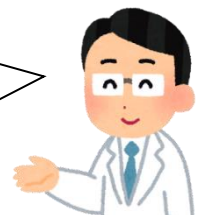
点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう
点滴台を支点にして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は支点にしないようにしましょう

12:00

昼食

医療スタッフの日目標

- ・アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



<時間>

<予定>

14:00

検温

- 副作用（吐き気、食欲不振、点滴針の刺入異常など）があればお知らせください
- 点滴中はなるべく安静に過ごしてください
- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます

点滴が終了すればシャワー浴ができます
体調に応じて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いしますので、声をかけてください



18:00

夕食

19:00

検温



フタをして水を
2回流しましょう

21:30

消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 感染予防行動について理解できる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温
洗面、歯磨き

歩行時のふらつきに注意しましょう
体がしんどいときなどは無理をしないで
看護師へ声をかけてください

7:30

朝食前に**アプレピタントカプセル**（吐き気止め）を服用します
朝食
朝食後に**プレドニン錠**を服用します

9:00

血液検査があります



フタをして水を
2回流しましょう

10:00

検温、体重測定

12:00

昼食
昼食後に**プレドニン錠**を服用します

14:00

検温
シャワー浴ができます
体調に応じて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



18:00

夕食

- 副作用（吐き気、食欲不振、点滴の針の刺入異常など）があればお知らせください
- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう

19:00

検温

21:30

消灯

検査項目	白血球	好中球	ヘモグロビン	血小板
数値				

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます



抗がん剤投与4日目 月 日



今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 感染予防行動について理解できる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温
洗面、歯磨き

歩行時のふらつきに注意しましょう
体がしんどいときなどは無理をしないで
看護師へ声をかけてください

7:30

朝食前に**アプレピタントカプセル**（吐き気止め）を服用します
朝食
朝食後に**プレドニン錠**を服用します



フタをして水を
2回流しましょう

10:00

検温、体重測定

12:00

昼食
昼食後に**プレドニン錠**を服用します

14:00

検温
シャワー浴ができます
体調に応じて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



18:00

夕食

- 副作用（吐き気、食欲不振、便秘など）があればお知らせください
- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更します
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう

19:00

検温

21:30

消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 感染予防行動について理解できる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00	起床、検温 洗面、歯磨き
7:30	朝食 朝食後に プレドニン錠 を服用します
10:00	検温、体重測定
12:00	昼食 昼食後に プレドニン錠 を服用します
14:00	検温 シャワー浴ができます 体調に応じて体を拭くこともできます 看護師がお手伝いしますので声をかけてください
18:00	夕食
19:00	検温
21:30	消灯

歩行時のふらつきに注意しましょう
体がしんどいときなどは無理をしないで
看護師へ声をかけてください



• 副作用（吐き気、食欲不振、便秘など）
があればお知らせください
• 食欲がなければ食べやすい食事へ変更します
• 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を
予防しましょう

MEMO 気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
• 副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに知らせることができる
- 感染予防行動がとれる

<時間>

<予定>

6:00

起床
洗面、歯磨き

歩行時のふらつきに注意しましょう
体がしんどいときなどは無理をしないで
看護師へ声をかけてください

7:30

朝食

10:00

検温、体重測定

* 骨髄抑制の時期です

37.5℃以上の発熱があれば
すぐに看護師に伝えてください

* 発熱時・好中球数が1000以下の場合は、1日4回検温を行います
(6時、10時、14時、19時)

12:00

昼食

シャワー浴ができます
体調に応じて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いしますので声をかけてください

18:00

夕食

- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 感染予防のために**マスク**を着用し、**手洗い、うがい**をしましょう
- 口の中に痛みや腫れなどの口内炎症状があるときは塗り薬やうがい薬を使います

19:00

検温

21:30

消灯

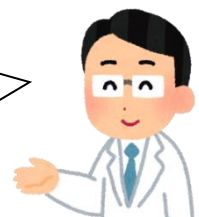


MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 室内環境を整え、感染防止に努めます
- 快適に入院生活を送られるよう支援します






今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに知らせることができる
- 感染予防行動がとれる

<時間>

<予定>

6:00	起床 洗面、歯磨き	歩行時のふらつきに注意しましょう 体がしんどいときなどは無理をしないで 看護師へ声をかけてください
7:30	朝食	
	血液検査があります	* 骨髄抑制の時期です 37.5℃以上の発熱 があれば すぐに 看護師に伝えてください * 発熱時・好中球数が1000以下 の場合は、1日4回検温を行います (6時、10時、14時、19時)
10:00	検温、体重測定	
12:00	昼食	
	シャワー浴ができます 体調に応じて体を拭くこともできます 看護師がお手伝いしますので声をかけてください	
18:00	夕食	
19:00	検温	
21:30	消灯	<ul style="list-style-type: none"> • 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます • 感染予防のためにマスクを着用し、手洗い・うがいをしましょう • 口の中に痛みや腫れなどの口内炎症状があるときは塗り薬やうがい薬を使います

検査項目	白血球	好中球	ヘモグロビン	血小板
数値				

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 室内環境を整え、感染防止に努めます
- 快適に入院生活を送られるよう支援します





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに知らせることができる
- 感染予防行動がとれる

<時間>

<予定>

6:00

起床
洗面、歯磨き

歩行時のふらつきに注意しましょう
体がしんどいときなどは無理をしないで
看護師へ声をかけてください

7:30

朝食

10:00

検温、体重測定

* 骨髄抑制の時期です
37.5℃以上の発熱があれば
すぐに看護師に伝えてください
* 発熱時・好中球数が1000以下
の場合は、1日4回検温を行います
(6時、10時、14時、19時)

12:00

昼食

シャワー浴ができます
体調に応じて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 感染予防のために**マスクを着用し、手洗い、うがい**をしましょう
- 口の中に痛みや腫れなどの口内炎症があるときは塗り薬やうがい薬を使います

18:00

夕食

副作用と対策について説明します
治療15日目頃：脱毛について
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照

19:00

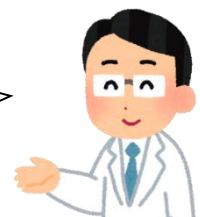
検温

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 室内環境を整え、感染防止に努めます
- 快適に入院生活を送られるよう支援します



発熱・感染症出現時

抗生剤投与中 月 日～ 月 日



今日の目標

- ・治療中の副作用症状を理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温
洗面、歯磨き

歩行時のふらつきに注意しましょう
体がしんどいときなどは無理をしないで
看護師へ声をかけてください

7:30 朝食

必要時、血液検査

10:00 検温、体重測定

* 骨髄抑制の時期です
37.5℃以上の発熱があれば
すぐに看護師に伝えてください
* 抗生剤の点滴を1日2回12時間毎
で行います
1時間かけて行います

12:00 昼食

14:00 検温

シャワー浴もできますが、体調に応じて
体を拭くこともできます
看護師がお手伝いします



18:00 夕食

- ・食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- ・感染予防のために**マスク**を着用し、**手洗い、うがい**をしましょう
- ・口の中に痛みや腫れなどの口内炎症があるときは塗り薬やうがい薬を使います

19:00 検温

21:30 消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・症状悪化の防止に努めます
- ・なるべく楽に過ごせるよう支援します





今日の目標

- ・退院後の日常生活について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床
洗面、歯磨き

歩行時のふらつきに注意しましょう
体がしんどいときなどは無理をしないで
看護師へ声をかけてください

7:30 朝食

10:00 検温、体重測定

* 37.5℃以上の発熱があれば
すぐに看護師に伝えてください

12:00 昼食

- ◆退院後の日常生活について説明があります
- ◆外来治療に向けて通院治療室についての説明と見学があります
見学時間は看護師からお伝えします
このパンフレットを持っていきましょう

シャワー浴ができます
体調に応じて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



18:00 夕食

- ・食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- ・退院後も感染予防のためにマスクを着用し、手洗い・うがいを続けましょう
- ・口の中に痛みや腫れなどの口内炎症があるときは塗り薬やうがい薬を使います

19:00 検温

21:30 消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院の準備がすすめられるよう支援します



退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温、洗面、歯磨き

7:30 朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
2階窓口で支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00 退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください

- ◆ 37.5℃を超える発熱があれば、退院日にお渡しする薬を服用しましょう
(医師の指示どおりに服用してください)
- ◆ 外来治療のときは、このパンフレットをお持ちください

次回外来受診日は

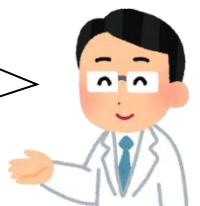
月 日 時の予定です

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・安心して退院できるよう支援します
- ・退院後の日常生活に不安や心配ごとのないよう支援します



「暖だん」では脱毛や爪障害に関連した製品を展示しています



ウィッグ製品展示室で、定期的に協力メーカーのアドバイザーによる相談会を開催しています

がん治療による脱毛や爪傷害に関連した製品の試着もできます

お気軽にお越しください



アドバイザーによる相談会の開催日は
医療スタッフにご確認ください

化学療法による副作用について

リツキシマブの副作用対策

点滴に伴うアレルギー症状が初回24時間以内、点滴のスピードを上げたときに生じることがあります
予防としてリツキシマブ投与開始30分前に、
アレルギー対策（ソル・コーテフ注、ポラミン注の点滴）、
発熱対策（ロキソプロフェン錠の内服）を行います



また、ゆっくりと点滴スピードを上げていきます
呼吸困難感・胸痛・動悸などの症状があればすぐに医療スタッフに伝えましょう

循環器系への影響

- 【注意】心筋障害を起こすことがあります
動悸、不整脈、胸痛などの症状が出現したら、医療スタッフにお知らせください
- 【対策】あらかじめ、心電図・心エコーによる心機能検査を行い、リスクの評価をします

膀胱への影響

尿に血が混じる、排尿時に痛むなどの症状です

- 【注意】エンドキサン代謝物が膀胱を刺激し炎症を起こすことがあります
- 【対策】膀胱炎の予防のため、エンドキサン点滴後3日間は、十分に水分をとり、尿量を増やしましょう（1.5L/日程度を目安にしてください）

末梢神経障害

知覚異常、手足のしびれ感、味覚障害などが生じることがあります
看護師にお知らせください

プレドニンの影響

血糖値の上昇、精神変調（不眠、いらいら、うつ症状など）
また、食欲亢進作用があります（制吐作用があります）

肺への影響

薬剤性の間質性肺炎のため、発熱の持続、から咳、身体動時の息切れが出現することがあります

- 【注意】発熱・から咳・息切れが出現した場合は、医療スタッフにお知らせください

※その他の副作用については
「がん化学療法を受けられる方へ」の
パンフレットを参照してください



退院後の日常生活について

★活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
疲れたときは十分な休息をとりましょう



★食事

バランスの良い食事を心がけましょう
食欲がないときは無理をせず、食べやすいものを食べられるときにとるようにしましょう
脂っこいもの、消化に悪いものや刺激物は避けましょう
においのないもの、のど越しの良いもの、味の濃いものが食べやすいようです
その他、避けたほうが良い食品がある場合は、医療スタッフから説明します



★お薬

薬を飲んでいる方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

＊37.5℃以上の発熱がある場合の対応について

- 処方されているお薬を医師の指示どおりに服用してください
- 薬を飲み始めたら、処方されている期間は飲み続けましょう
- ただし、飲み始めて、湿疹が出る、下痢がひどい、などの症状があれば服用をやめ、がん相談支援センターに相談しましょう

★清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう
(ただし、発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控え、温かいタオルなどで拭くようにしましょう)

冬場など皮膚が乾燥していると皮膚が弱くなり、感染を起こしやすくなります
市販の保湿クリームなどで保湿をしましょう

抗がん剤の投与後、およそ5日目から10日目ころに口内炎が発生しやすくなります

- 歯ぐきの傷つきを防止するため、歯ブラシは小さめの柔らかいブラシのものを使うとよいでしょう
- やわらかい料理（お粥や、やわらかく煮込んだうどんなど）を多めにしたり、とろみをつけたり、裏ごしすると食べやすいです
- 料理は熱いものを避け、冷まして食べると炎症部位への刺激が少なくなります
塩分や酸味、香辛料の強いものは避けるとよいでしょう

★受診

定期的に外来を受診してください

外来受診時に検査のある場合は、医師から説明があります
検査は状況に応じてあります



外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

①受付



Bブロック

②採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆
採血場所や注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血してもらってください



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③診察受付
A、B、C、S各ブロック

Aブロック

Bブロック

Cブロック

Sブロック

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
精神腫瘍科
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④診察

乳腺科
婦人科
形成・再建皮膚腫瘍外科
頭頸科・甲状腺腫瘍科

消化器科
糖尿内科
循環器科
皮膚科
眼科
リンパ浮腫

治療決定

Sブロック

⑤治療
通院治療室

外来では、
看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了



検査の説明を受ける方は、予約センターへ

他の診療科で診察のある方は、各診療科受付へ

予約センターは
B受付の隣です



⑥会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

会計終了後に処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行いますので、少しお時間を頂きます。
- ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料でご利用できます。また、ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。但し、ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- ご家族の待機場所は、「暖だん」や「図書コーナー」などがありますのでご利用ください。必要時には、付き添うこともできます。
- 副作用や日常生活で困っていることなど、相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- ◆嘔気が続き、水分・食事がほとんどとれない日が続くとき
- ◆転んだり、けがをしたときに圧迫しても傷口からの出血が止まらないとき
- ◆体を起こすこともできないほどの強いだるさが続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8：30～17：15
(直通番号) 089-999-1112



R-CHOP療法を受けられる方へ